



平成 20 年 8 月 30 日に油谷向津具で発生した大雨による地すべり

危険にどう備えますか？

「土砂災害」

普段の備えが命を守る

6月は「土砂災害防止月間」です。地球温暖化による気候変動により、熱帯低気圧の強度が増大するとともに、大雨の頻度も増加する可能性が高く、土砂災害の増加、激甚化が懸念されています。

地域の危険性を

把握しましょう

災害発生に備えるには、まず自分や家族、地域の危険性を知ることが大切です。住んでいる地域や職場、学校などの周辺のハザードマップを再確認し、災害の危険性や避難場所を把握しておきましょう。

ハザードマップは防災危機管理課または各支所で確認できます。
※長門市ホームページでも閲覧可



情報を

収集しましょう

災害から身を守るためには、自ら気象情報や避難情報、災害発生情報入手することが必要です。これらの情報はテレビ（データ放送やテロップ含む）・ラジオ・防災行政無線・音声告知放送・長門市防災メールやインターネットなどから入手できます。

■音声告知端末機の活用

「音声告知端末機」は、災害から命を守るために必要な各種情報を自宅や

職場など屋内に提供するシステムです。大雨や風の音で屋外の防災行政無線が聞き取りにくい状況でも、避難情報、災害発生情報などが確認できますので、出水期までに音声告知端末機の動作確認などをお願いします。

■長門市防災メールの登録

長門市防災メールに登録（無料）すると、携帯電話やパソコンに気象情報や避難情報など防災情報が配信されます。また、停電時などにも情報が入手できる可能性が高いため、長門市防災メールへの登録をお願いします。
・登録方法

e-nagato@
xpressmail.jp へ 空
メールを送信し、折
り返し返信される登
録用メールの案内に従って登録する
か、下記のQRコードから登録してく
ださい。



■災害に関する情報とあわせて警戒レベルを伝達

昨年からの防災行政無線や音声告知端末機などによる避難情報や災害発生情報に、警戒レベルを加えて伝達しています。

これは、左上の図のとおり災害発生の恐れの高まりに応じて、警戒レベル

■警戒レベルと市民が取るべき行動

警戒レベル	避難情報や気象情報など	市民が取るべき行動
5	災害発生情報 大雨特別警報など	命を守るための最善の行動をとる
4	避難指示（緊急）	立ち退き避難が危険だと判断される場合は、屋内のより安全な場所に避難する
	避難勧告 土砂災害警戒情報	速やかに緊急避難場所などに立ち退き、避難を開始
3	避難準備・高齢者等避難開始 大雨・洪水警報	高齢者などは緊急避難場所などへの立ち退き避難を開始、その他の市民は避難の準備
2	大雨・洪水注意報	避難に備え、自らの避難行動を確認
1	警報級の可能性	災害への心構えを高める

を5段階に分け、市民が取るべき行動を直感的に理解しやすいものとするものです。特にレベル4は災害の危険性が極めて高く、全員避難（緊急避難場所などへの立ち退き避難）が基本となります。

また、警戒レベル5はすでに災害が発生している状況であり、その場の状況に合わせて命を守る最善の行動をとることが求められます。

自主防災組織を 設立しましょう

自主防災組織とは「自分たちの地域は自分たちで守る」という自覚、連帯感に基づき、自主的に結成する組織であり、災害による被害を予防し、軽減するための活動を行う組織です。

災害発生時に個人が命を守り、危険から回避する「自助」、地域（自治会など）で助け合い、地域住民の安全を守る「共助」、国や県、市が実施する災害対策「公助」を効果的に連携させることが重要です。

行政と市民が一体となって「災害に



▲土砂災害を想定した三隅野波瀬での防災訓練

強い長門市」をつくりあげるため、自治会単位の結成率100%を目指し、自主防災組織の結成を推進しています。

設立にあたっては、自主防災組織育成補助金が活用できるほか、専門知識を有する職員が設立に関する支援を行います。

この自主防災組織育成補助金については、令和2年度から、これまでの設立時に加え、防災研修や防災訓練などへの活動補助、防災資機材や備蓄品の購入補助（一定の条件あり）を行うこととしておりますので、積極的にご利用ください。詳細は、防災危機管理課までお問い合わせください。



▲西深川板持での避難訓練

防災講座を 活用しましょう

■防災の専門職員を派遣

市では、地域の災害の危険性や備えなどの更なる意識醸成を図り、地域防災力を向上させることを目的として、自治会や学校、企業などに防災に関する専門的な知識を持つ地域防災マネージャーを派遣し、「防災講座」を行っていますので、ご利用ください。

地域の各種災害の危険性やそれへの対応、自主防災組織に関することなど具体的な内容をお話します。

■防災危機管理課 Tel.23・1111



▲小学校での防災講座の様子